

2022年5月19日

総長 廣瀬 克哉 殿

専門職大学院教育課程連携協議会  
(イノベーション・マネジメント研究科)  
議長 藤村 博之<sup>1</sup>

専門職大学院教育課程連携協議会  
(イノベーション・マネジメント研究科)

2021年度 活動報告書

専門職大学院設置基準の改正(2019年4月1日施行)により、教育課程連携協議会の設置が義務づけられるようになった。この協議会は、「産業界等との連携により、教育課程を編成し、及び円滑かつ効果的に実施するため」に設けるものとされている。イノベーション・マネジメント研究科においても、2019年度から協議会を設置し、年2回の割合で会議を開催してきた。2021年度の教育課程連携協議会での議事内容と提言について報告する。

---

<sup>1</sup> 2021年度議長

#### 【委員会開催日及び開催場所】

第1回 2021年7月27日 新一口坂校舎101教室及びオンライン会議（Zoom）

第2回 2022年3月8日 新一口坂校舎101教室及びオンライン会議（Zoom）

#### 【協議会委員構成】

藤村 博之（法政大学イノベーション・マネジメント研究科長）

五月女 健治（法政大学イノベーション・マネジメント研究科教授）

澁谷 裕以（ITコーディネータ協会会長）

野口 正（一般社団法人中小企業診断協会 専務理事）

坂田 甲一（トッパン・フォームズ株式会社 代表取締役社長）

#### 【協議会の目的】

連携協議会（イノベーション・マネジメント研究科）は

- （1）産業界等との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
- （2）産業界等との連携による授業の実施その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

について審議し、総長及び研究科長に意見を述べるものとする。

#### 【活動方針】

- 1 研究科における諸々の現状の教育課程や教育方法の現状を把握し、改善等を目的とした意見交換をする。
- 2 入学志願者等の実績向上を図るための意見交換をする。
- 3 研究科の取組状況や計画等について意見交換をする。
- 4 その他、必要な意見交換をする。

## 1 はじめに

2019年度から始まった本教育課程連携協議会は3年目を迎えた。2021年度は、2020年度に引き続き、新型コロナウイルスに対応する中で、教育の充実を実現すべく、さまざまな工夫を行った。講義だけでなく、本研究科での集大成として位置付けているプロジェクトの指導においても、従来の対面やメールだけでなく、オンラインシステムを活用して推進された。2回の中間発表会と最終発表会、そして優秀プロジェクト発表会は、感染症の状況に応じて、対面とオンラインを適宜使い分けることで教育効果を高めようとした。2019年度、2020年度に引き続き、委員の先生方には、大変お忙しい中、長時間にわたってプロジェクト発表会を聴講いただき、大変重要で具体的な改善案を提示いただくことができた。

## 2 現状の教育内容・教育方法について

本研究科の特色の一つであるプロジェクトは、授業科目の中心であり、学修の集大成、学びの総括である。各々が設定する課題に対して、実現可能なビジネスプラン、あるいは特定の課題に対する調査研究、理論研究又は解決手法を具体的に実現する計画を立案・構築する能力を養い、実行する力の修得を目指している。

産業界が経営系専門職大学院に求めている人材はどのようなものなのかという視点から、知識だけでなく実行力等を兼ね備えた人材になれるように、教育内容や教育方法について意見を交わした。

### (1) プロジェクトについて

過年度からの提言を受け、プロジェクトの評価について、継続的に意見交換がされた。

中間発表での評価の観点として、「革新性」を求めているものの、それに欠けるものが散見される。中には発表するにも十分とは言い難いものもある。プロジェクトの進め方について、指導教員から一層の丁寧な指導が必要である。

プロジェクトは、「ビジネスプラン型」と「特定ビジネス解決型」に大別されており、それぞれの定義、審査基準、評価指標、報告書作成ガイドライン等について、学生に示されているが、その内容については、引き続き再考する余地があり、継続的に見直しが求められる。また、評価者それぞれの観点による評価基準があるのも事実であり、統一的な評価基準を定める必要性の有無とその内容は慎重に検討を要する。

### (2) 新設科目について

2021年度、学生からの要望でもあり、また、ビジネスプラン策定、あるいは課題解決という側面から税に関する基礎知識が必要との考えから税法科目を開設した。授業評価としては概ね好評であることが報告された。

2022年度は中小企業診断士養成に求められる科目等を新たに開設することが報告され、新設する科目については特に、その効果を検証していくことを確認した。

### 3 入学者、志願者の安定的な確保

2022年度の入学者の状況から定員を満たす志願者、入学（予定）者については、これまで以上に一層の増員を目指し、確保していることを確認した。

### 4 AACSB 国際認証取得について

これまで AACSB 国際認証取得に向けて活動をしていたが、2021年11月に取得を断念することとなった経緯が報告された。AACSB 国際認証取得のための活動経験は今後も研究科の運営に役立てることが表明された。

### 5 今期取り組みについて

#### (1) ICTを活用したビジネス人教育のあり方について

オンライン授業における課題等について、意見が交わされた。

オンライン授業に教員も学生もかなり慣れてきた感はあるが、教育効果を確認する上では、学生もカメラをオンにすることが望まれる。

オンラインでは、グループの中にならずき・相槌をする担当がいると周りが同調するので、議論を活発にするのに有効である。

### 6 まとめ

以上の意見交換により、以下を本協議会として提言し、次回以降、その実行状況を点検することになった。

提言 1	プロジェクトに関して、評価基準を継続的に見直すことが望まれる。
提言 2	新設科目については、開設目的ならびに効果を継続的に検証することが望まれる。
提言 3	「ICTを活用したビジネス人教育のあり方について」、多角的に検討することが望まれる。

以上